

- 問1 律令制のもとで、正丁（成人男子）に課された税のうち、都へ赴いて年間10日間働く「歳役」という労役の代わりに、布を納めることとされたものを何といいますか。（2016年 鹿児島県公立入試 類似）
1. 雑徭 2. 租 3. 庸 4. 調
- 問2 律令制度のもとで、都へ納めるべき「調」の品目として、各地の地理的条件に合わせて選ばれたものの組み合わせとして適切なものはどれですか。（2018年 香川県公立入試 類似）
1. 外国との交易で得られた香料や貴金属 2. 都での土木工事や警備に従事するための労働力 3. 各地の口分田から収穫された大量の稲や粟 4. 海に近い国々からの塩や魚の干物、山間部からの絹や糸
- 問3 歴史上の出来事を時系列で整理したとき、7世紀初めの「遣隋使の派遣」から、11世紀末の「院政の開始」までの間に起こった出来事として正しいものはどれですか。（2022年 愛媛県公立入試 類似）
1. 承久の乱が起こり、後鳥羽上皇が幕府軍に敗れて隠岐に流された。 2. 墾田永年私財法が出され、新しく開墾した土地の永代私有が認められた。 3. 参勤交代が制度化され、諸大名が一年交代で江戸と領地を往復するようになった。 4. 地租改正が行われ、土地の所有者に地券が発行され、地価の3%を現金で納めることになった。
- 問4 奈良時代、律令国家の体制を整える一環として、朝廷は各国に命じて、その土地の地理、産物、そして古くから伝わる伝承などを報告書としてまとめさせました。この記録を何といいますか。（2020年 神奈川県公立入試 類似）
1. 風土記 2. 万葉集 3. 日本書紀 4. 古事記
- 問5 奈良時代、律令に基づいて人々に課された租税のうち、絹、布、糸、あるいは各地の海産物などの特産物を都まで運んで納める義務を何と呼びますか。（2024年 岡山県公立入試 類似）
1. 庸 2. 租 3. 雑徭 4. 調
- 問6 奈良時代の文化を象徴する正倉院の宝物には、ペルシャ（ササン朝）風の文様が施された「漆胡瓶」や、インド産の香木などが含まれています。これらの品々が当時の日本に存在したことは、この文化がどのような性格を持っていたことを示していますか。（2016年 岐阜県公立入試 類似）
1. 鎌倉時代の武士が禅宗とともに大陸から直接輸入した、質実剛健な文化 2. 地方の豪族が独自に大陸と貿易を行って収集した、地方独自の多様な文化 3. 遣唐使を通じて、シルクロードを経由した西方の文化も伝わった国際的な文化 4. 平安時代の貴族が日本の自然や風土に合わせて作り上げた、日本独自の文化
- 問7 奈良時代の出来事を記した略年表において、聖武天皇が国分寺建立の詔（みことり）を出した時期と同時期に栄えた「天平文化」の特色を説明したものとして、正しいものはどれか。（2020年 静岡県公立入試 類似）
1. 遣唐使によってもたらされた唐の文化の影響を強く受け、国際色豊かな特色をもつ。 2. 国学や蘭学が発達し、庶民の間でも読み・書き・算盤が普及した。 3. 平氏一族が権力を握り、厳島神社の造営など貴族的な文化が華開いた。 4. 武士の台頭を背景に、力強く素朴な気風をもった文化が全国的に広まった。
- 問8 8世紀初頭の710年に、唐の都である長安をモデルとして奈良の地に遷された都を何といいますか。712年に『古事記』が編纂された際の政治の中心地としても知られています。（2018年 鳥取県公立入試 類似）
1. 平城京 2. 長岡京 3. 平安京 4. 藤原京
- 問9 8世紀に編纂された「風土記」の内容や目的について述べた文として、最も適切なものはどれかを選びなさい。（2017年 千葉県公立入試 類似）
1. 中央政府が地方の実態を把握するため、国ごとに郷土の地理や地名の由来、伝承などをまとめさせた。 2. 租・庸・調などの税を確実に徴収するため、農民の戸籍や口分田の面積を地方ごとに記録した。 3. 天皇による統治の正当性を示すため、神話から続く国家の成り立ちを年代順に記録した。 4. 仏教による国家の安定を願って、全国に建立された国分寺や国分尼寺の由来を詳しく記した。
- 問10 奈良時代の743年に制定された、新しく開墾した土地を永久に自分のものにすることを認めた法律を何といいますか。（2018年 沖縄県公立入試 類似）
1. 太閤検地 2. 三世一身の法 3. 班田収授法 4. 墾田永年私財法
- 問11 七百年に平城京へ都が移ってから七百九十四年に平安京へ都が移るまでの期間、当時の天皇が「鎮護国家の思想」に基づいて実施した政策として、正しいものはどれですか。（2023年 高知県公立入試 類似）
1. 貴族の権力争いを防ぐため、武士を登用して警備を強化した 2. キリスト教の布教を禁止し、寺請制度によって民衆を寺院に登録させた 3. 全国各地に神社を建て、天照大神を祀ることで国家の統一をはかった 4. 国ごとに国分寺・国分尼寺を建立させ、都に大仏を造立した
- 問12 8世紀後半の東大寺の荘園を示す絵図において、土地は格子状に整然と区画されており、その区画は現代の地形図に見られる田の境界線とも一致しています。このような、当時行われていた土地の区画制度を何といいますか。（2024年 神奈川県公立入試 類似）
1. 条里制 2. 検地 3. 地租改正 4. 班田制
- 問13 律令制度において、各地の特産物である絹や布、あるいは海産物の加工品などを都まで運び、直接納めることが義務付けられていた税を何と呼びますか。（2016年 山形県公立入試 類似）
1. 雑徭 2. 庸 3. 租 4. 調
- 問14 8世紀初めの史料において、個人の姓名や年齢とともに「口分田」の面積が詳細に記録されている背景には、国家のどのような目的があったと考えられますか。最も適切な説明を選びなさい。（2024年 福島県公立入試 類似）
1. 地方の豪族が独自に開墾した土地を保護し、貴族の勢力を弱めるため 2. 土地と人民を国家が直接支配し、税の徴収や兵役の割り当てを確実に行うため 3. 農民に土地の私有を認め、自由に売買させることで農業生産力を高めるため 4. 仏教の力で国を護るため、寺院に寄付する土地の範囲を明確にするため
- 問15 奈良時代、聖武天皇は相次ぐ反乱や疫病といった社会不安を鎮め、国家を安定させるために仏教の力を利用しようと考えました。このように、仏教の教えによって国を守ろうとする思想を何と呼びますか。（2026年 北海道公立入試 類似）
1. 鎮護国家の思想 2. 尊王攘夷の思想 3. 末法思想 4. 神仏習合の思想